



杉久保、澁谷功一・由季子さんの長女=1歳1ヶ月



国分寺台、高橋智信・香代子さんの長女=1歳1ヶ月



杉久保、岡崎修・暢子さんの長男=1歳1ヶ月



門沢橋、岩澤剛・一美さんの長女=1歳1ヶ月



東柏ヶ谷、植村純哉・陽子さんの長男=1歳1ヶ月



大谷、関政弘・陽子さんの長女=1歳1ヶ月



大谷、湯口雅成・りかさんの2女=1歳1ヶ月



上今泉、熊切豊・恭子さんの2男=1歳1ヶ月

まんまる赤ちゃん

レンゲ畠でのびのびと

みんなからの作品

12日から5回目の写真展を開催する

有馬 稔さん

カメラを手に有馬さん



▲プロ野球に熱い声援

5月5日、海老名運動公園でプロ野球イースタンリーグの試合が行われました。目前で見るプロのプレーに、応援するファンの声援も熱が入っていました。

市役所東側の畑にレンゲが満開。保育園児が駆け回り、レンゲを摘んだり、テントウムシを発見したりと、のびのびとした時間を過ごしました。



▲取れたて野菜をどうぞ

5月15日、海老名市園芸協会のレタス部会・トマト部会が、新鮮な取れたて野菜を市内の星谷学園(写真)など11カ所の施設にプレゼントしました。



△場所

東柏ヶ谷・桜並木
柏ヶ谷在住・小野田留藏さん撮影

△撮影日 4月7日



△場所 河畔公園 △撮影日 4月8日
上今泉在住・細川政太郎さん撮影

みんなからの作品
海老名の風景④

今月のプロフィル

12日から5回目の写真展を開催する

有馬 稔さん



カメラを手に有馬さん

「鳥たちの一生懸命に生きていこうとするひたむきさや、自分の子をよくかわいがる姿を写真に撮りたいんです」と話すのは、6月に5回目の写真展を開く有馬稔さん(国分寺台在住・62歳)。有馬さんが写真を始めたのは10年ほど前。最初は、伊豆半島や富士山などの風景写真や、花や虫などを撮影していましたが、5年前新潟県の瓢湖で白鳥の美しさに魅せられて以来、主に鳥の写真を撮り続けています。鳥たちは、動きが速く、人を怖がることが多いので、超望遠レンズで狙います。遠くの鳥たちを見つけ、ファインダーにうまく収めるのはむずかしいです。でも傑作が撮れたときは「すごくうれしい」と話す有馬さん。約20ある機材・荷物を背負い撮影地を移動しても、大好きな写真のためなら苦にならないとか。今回の写真展「スワンパークの詩」は、6月12日から

分別回収のペットボトル
年間約320万本のうち約4割
がふたがついたまま出され
ています。分別場で月数万
本が人の手によって一つひ

編集機記

とつはずされていて時間が
かかっています。みなさんが
が、ほんの数秒でふたを
せずせば費用の削減にもなり
ます。ぜひご協力を。(裕)



最上川のハクチョウ

18日までの間、横浜市内のギャラリーミロ(JR 関内駅北口徒歩3分・吉田町交番前)で開催(入場無料)。山形県酒田市の最上川のオオハクチョウ、ウミネコなど約30点の写真が並ぶ予定。時間は午前10時~午後6時(初日は午前11時から、最終日は午後5時まで)です。「今回は、鳥たちのアップだけではなく、現地の人たちとの交流も、楽がわかるようになっています。山形県出身で県内に住んでいる人にも見に来てほしいですね」と。

撮影地では、鳥たちの撮影はもちろんですが、訪れた現地の人たちとの交流も、楽しみで、白鳥を撮影した現地で写真展を開くこと。「たくさんの方々に喜んで貰えることを思って、白鳥たちや、撮影地でお世話をした人たちに少しでも恩返しができたら」と。これからも、鳥たちを追い続け、傑作探しに各地を巡ります。

白鳥の美しさに魅せられ